

(3) ②様式第3号-2 (報告書)

NITS・教職大学院・教 育委員会等 コラボ研修プログラム 支援事業報告書	実施機関名・連携機関名 茨城県教育研修センター 事業名：【NITS・茨城県教育研修センターコラボ研修】 Online EdCafé (オンライン・エドカフェ) ～教育の未来を語りあうオンラインカフェ～ 開催日時：令和7年11月4日(火)、12月18日(木)、令和8年2月6日(金) (全3回、シリーズ第37回～第39回 14:00～16:30) 開催場所：Zoomを用いたオンライン開催 (11/4、12/18) 茨城県教育研修センター (笠間市平町 1410) (2/6) 参加人数と参加者の属性：(52人) 茨城県内の教職員 49人、学識経験者 3人
--	--

**目的：**

Online EdCafé (オンライン・エドカフェ) は、オンライン会議システムを活用した研修を実施し、参加者が対話を積み重ねながら「自己の在り方」「考えの枠組み」への新たな気づきを得ることで、現在の教育課題に関する理解を深めることを目的とする。またその対話の様子を YouTube で公開配信し、視聴した教員にも豊かな気づきが醸成されることを目指している。

**内容：**

毎回大阪市立大空小学校初代校長 木村 泰子 氏を講師に迎え、参加者と講師がフラットに本音を語りあい、対話によって、自身の考えの枠組みや教員としての在り方を問い直した。カフェで話すような自由さ、自分の言葉で経験や想いを語ることを大切に、その日の「おすすめ」(教育に関するテーマ)について、合計3回の対話を重た。第1回では「学び」を本質観取し、学びとは「他者とともに よりよく生きる未来を創る自分へのアップデート」とした。その言葉や内容を、第2回、第3回のテーマに掲げ、対話を深めた。また、研修会等の動画資料として広く活用できるよう、対話の様子を YouTube で公開配信した。

各回のテーマと参加者、主な内容は以下の通り。

- ・ 第1回(シリーズ第37回) テーマ：「学びとは～教師の学びを問い返す～」(本質観取)  
参加者：木村泰子氏、苫野一徳氏、県内の教員7人  
ゲストとして、国立大学法人熊本大学大学院准教授 苫野 一徳 氏を迎え、オンラインで参加者と本質観取を行った。自身の経験を基にした多様な事例を挙げ、互いに問い、考えを語り合う中で、「学び」についての考えを新たにしたり、「学び」を問い直したりする姿が見られた。対話を重ねる中で、学びとは「他者とともによりよく生きる未来を創る自分へのアップデート」という言葉が紡ぎ出された。
- ・ 第2回(シリーズ第38回) テーマ：「どうアップデートする？これからの学校～思うは招く～」  
参加者：木村泰子氏、植松努氏、県内の教職員7人  
ゲスト講師に(株)植松電機社長 植松 努 氏を迎えて、オンラインで対話した。第1回の本質観取を受けて、これからの学校、学校の学びをどうアップデートするかについて語り合った。対話の中で出てきた問いをさらに深めていく様子も見られた。主体性、当事者性を大切にする学校教育、困難を乗り越え成長する子どもに寄り添う大人の在り方という視点で、これからの学校について問い直した。
- ・ 第3回(シリーズ第39回) テーマ：「私が考える『みんなの学校』」  
参加者：木村泰子氏、県内の教職員35人  
ワードクラウドの活用により、多様な視点を共有した後、小グループでの対話で木村氏からの問いに対する考えを深めた。対面ならではの多様な方法を用いた対話により、一人一人が「自分の考えるみんなの学校」を言語化し、実践に向けて考えを深めた。

**成果：**対話の様子を録画し、編集を加えて YouTube で公開配信した。再生回数 (2/6 現在)は次の通り。

第37回 2,704 第38回 1530 (1/26 アップロード約2週間)

※令和2年度からのシリーズ総再生回数は25万回を超え、毎年どの回も1000回程度ずつ増加。

- ・参加者アンケート結果から、「自己の在り方」「考えの枠組み」への新たな気づきを得て、自らの考えを深めることができたと考える。項目「今回の研修は、資質能力向上に向けた『自身の学び』への意欲を高めるものであったか。」において、「よくあてはまる」92.9%、「今回研修を通して学びや気づきを得られたか。」において「よくあてはまる」92.8%。以下は自由記述の抜粋。「対話を通し自分が固定観念にかなり囚われていることに気づいた。最上位目標は何か、手段が目的にすり替わっていないか、考える習慣を付けたい。」「自分の考えを言葉にすることで、ぼんやりしたイメージが明確になっていくことを実感できた。」「泰子さんの言葉をきっかけに他者との違いに気づいた。考えを広げるにしても深めるにしても効果的であることから、やはり教育には対話は欠かせない。」

## 「NITS からの提案（第一次）」との関連における研修担当者としての気付き

- ・これまで講師の研修内容や構成に注力していたが、今回の「Online EdCafé」では、参加者の視点に立ち、「自己の在り方」や「考えの枠組み」にどのような新たな気付きが生まれるかという「研修目標」を起点にプログラムを構成したことで、参加者の主体的・対話的な学びをより促すことができることを実感した。
- ・自由な対話と、講師からの本質的な問いの投げかけをもとに対話を進める研修方法は、視聴者も含めた多くの教職員に、自身の教育の在り方を問い直すきっかけを提供できた。参加者が「モヤモヤ」したり、既存の枠組みを揺さぶられたりする時間を大切にすることが、深い学びにつながることを再確認した。

アイデアや工夫したこと： ◎ 自身の経験を自分の言葉で「フラットに自由に語る」ことを基本姿勢とした。

◎ 毎回、本質観取の専門家や学校外の学識経験者を迎え、多様な視点で語り合えるようにした。

◎ 配信にはチャプターを設け、視聴者が自身の関心あるテーマへ容易にアプローチできるようにした。

 <p>第37回 テーマ: 「学びとは ~教師の学びを問い返す~」</p> <p>菅野 一徳さん 木村 泰子さん</p> <p>茨城県教育研修センター</p>	 <p>第38回 テーマ: 「どうアップデートする? これからの学校 ~思いは招く~」</p> <p>植松 努さん 木村 泰子さん</p> <p>茨城県教育研修センター</p>	 <p>教育研修センターwebページの動画へのリンク</p>
 <p>菅野一徳氏、木村泰子氏</p>	 <p>植松努氏、木村泰子氏</p>	 <p>公開動画のチャプター設定</p>
<p>【第37回】 「学びとは~教師の学びを問い返す~」菅野一徳氏をゲストに迎え、「学び」の本質を探り、「学びとは」を言葉にしていく様子</p>	<p>【第38回】 「どうアップデートする? これからの学校」ロケットづくりで子どもの学びを伴走し、学びの在り方を問いかける植松努氏との対話で、視座を広げる様子</p>	<p>【第39回】 「私が考える『みんなの学校』」ICTを活用し、一人一人の意見表明を生かして、さらにグループでの対話が深まった様子</p>
 <p>木村泰子氏の投げかけから、問い直して、対話を繰り返している様子</p>	 <p>公開動画のチャプター設定</p>	<p>00:00 オープニング、参加者の自己紹介と意気込み 08:18 今日のおすすめ (テーマ) 10:20 「アップデート」をキーワードに事例を挙げると... 15:42 決まりと安心の関係から見えてくること 28:17 自分の言葉で「安心」を語ると... 34:42 学校は子どもが我儘して頑張るところ? 1:03:34 学習規律を問い直す 1:10:35 他者評価ではなく、自分で考える大切さ 1:27:00 植松社長の考える支える関わり 1:39:16 子どもが育つ学校を目指して 1:44:13 参加者からの振り返り</p> <p>※令和7年度 Online Ed Caféは「NITS・茨城県教育研修センターコラボ研修」として実施しています。</p>